



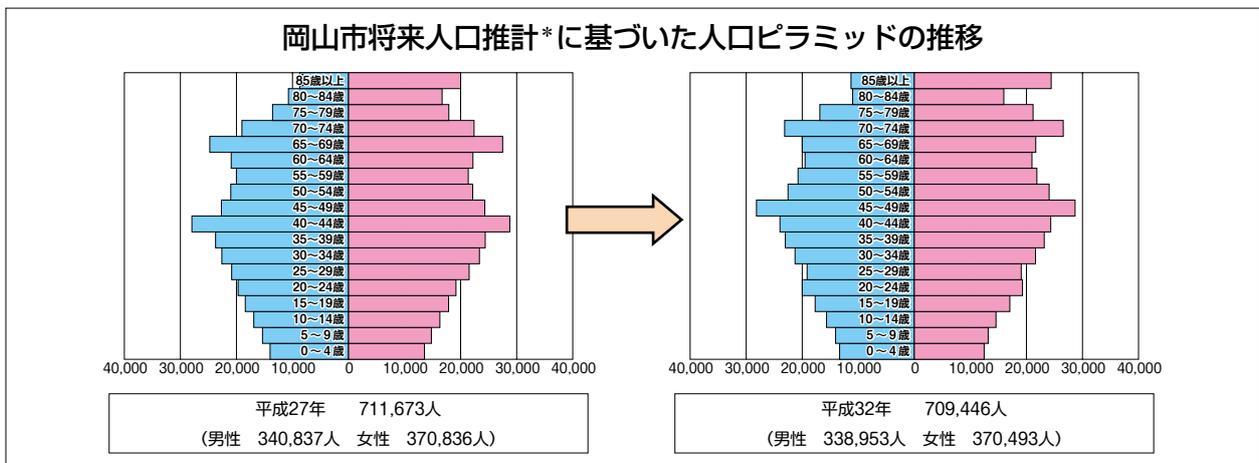
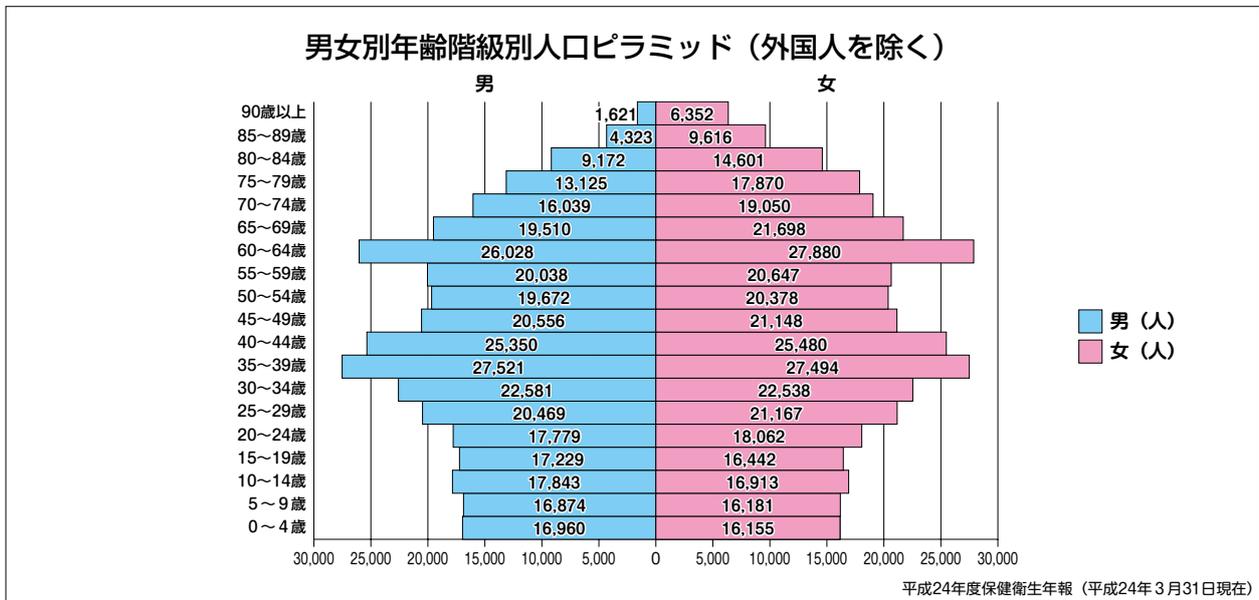
第2章 岡山市民の健康をとりまく状況

岡山市民の健康をとりまく状況

1 人口の動向

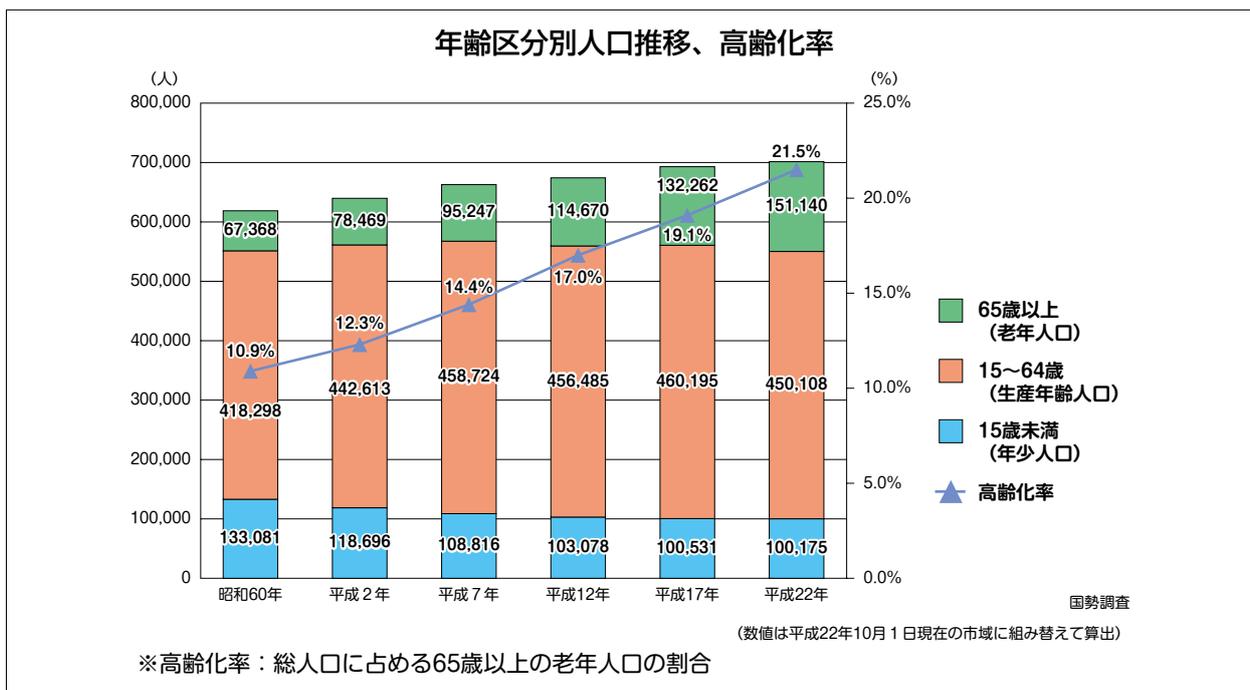
岡山市の人口は現在70万3219人（住民基本台帳人口及び外国人登録人口、平成24年6月末）で、増加が続いていますが、10年以内に減少に転じると推計*されています。

高齢化率（65歳以上人口割合）は徐々に上昇し、平成22年には21.5%になり、10年前の1.3倍、20年前の1.7倍となっています。今後も高齢化率は上昇を続け、平成27年には25.3%、平成32年には27.0%にまで上昇すると推計*されています。一方、15歳未満の年少人口割合は減少を続けており、平成22年には14.3%でしたが、今後減少が続き、平成27年には12.7%、平成32年には11.7%になると推計*されています。



※『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計 国立社会保障・人口問題研究所）

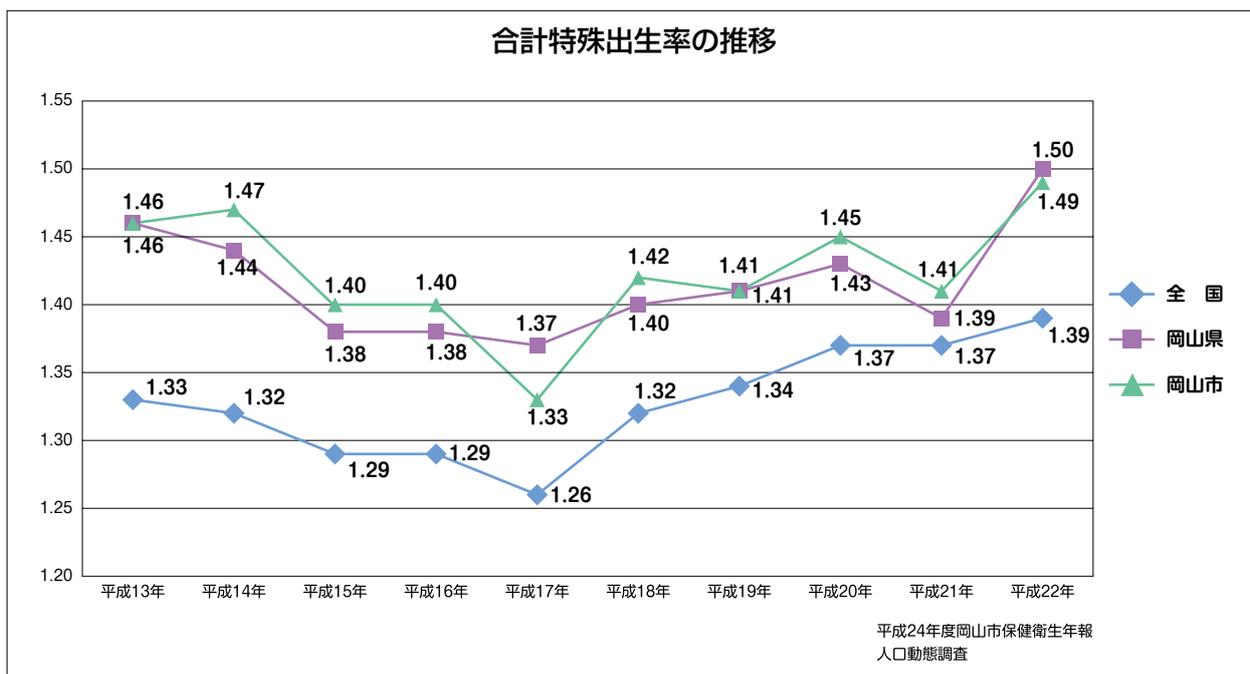
平成20（2008）年12月1日現在の1805市区町村（1782市町村と東京23区）を対象として、市区町村別の将来人口推計の結果をとりまとめたもの

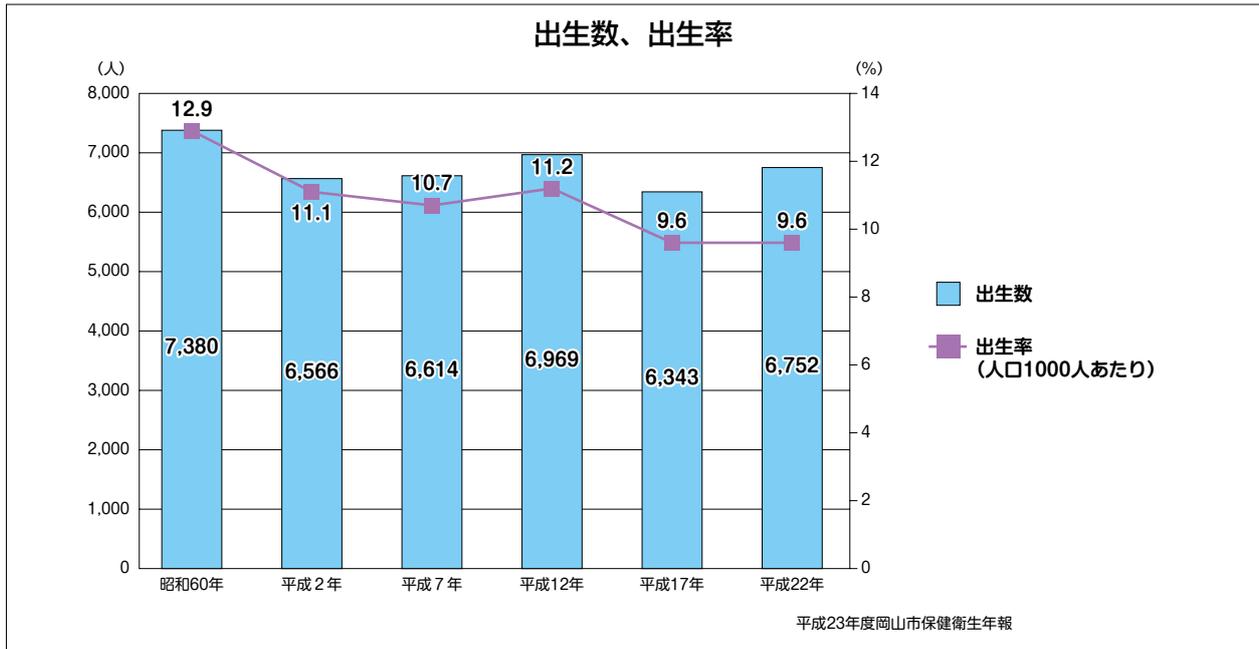


合計特殊出生率^{※1}は、全国、岡山県、岡山市とも平成17年まで低下傾向が続いていましたが、平成18年以降は増加傾向にあり、平成22年の岡山市での合計特殊出生率は1.49となっています。また、出生率^{※2}は徐々に低下してきていましたが、下げ止まりの傾向で平成22年の岡山市での出生率は9.6と、平成17年と同じ値となっています。

※1 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性が一生の間に生む子どもの数に相当する

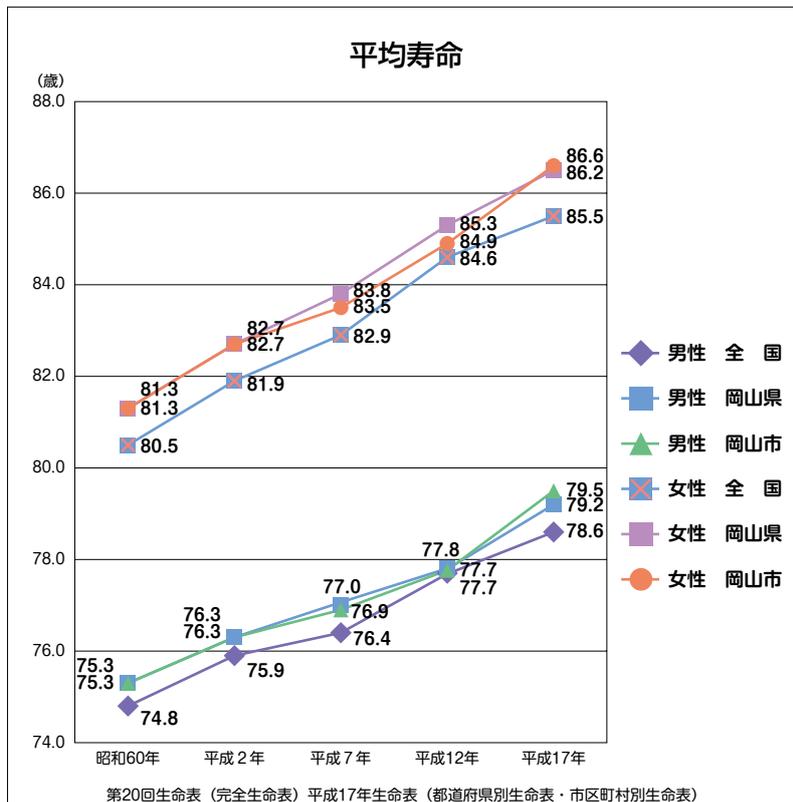
※2 出生率：人口1,000人あたりの出生数

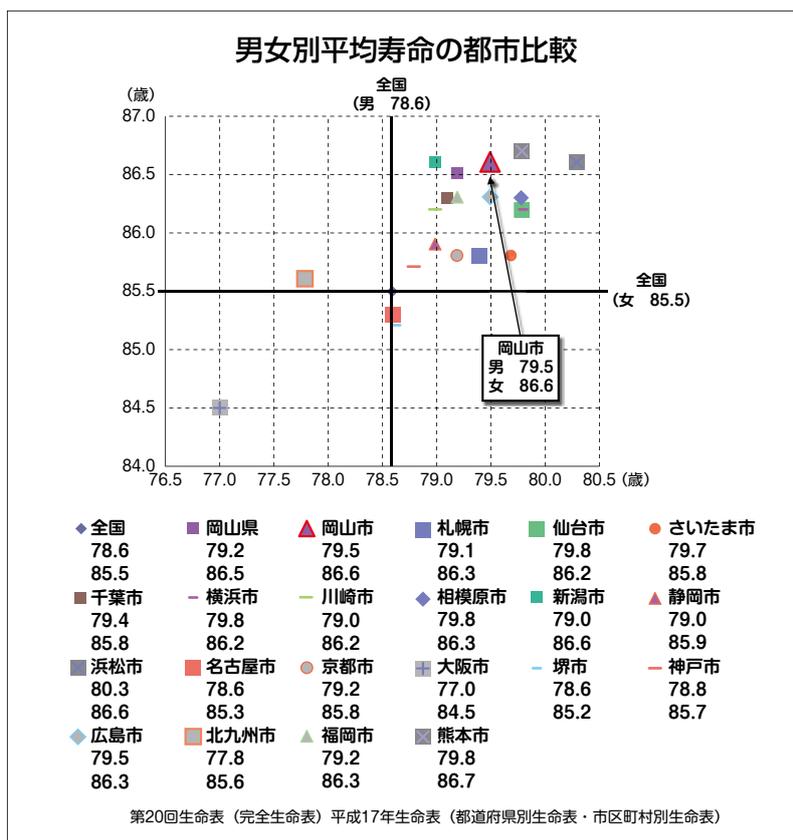




平均寿命（0歳の平均余命）は上昇が続き、さらに男女とも全国平均に比べ高く推移し、平成17年には岡山市は男性79.5歳、女性86.6歳でした。政令指定都市の中でも上位です。

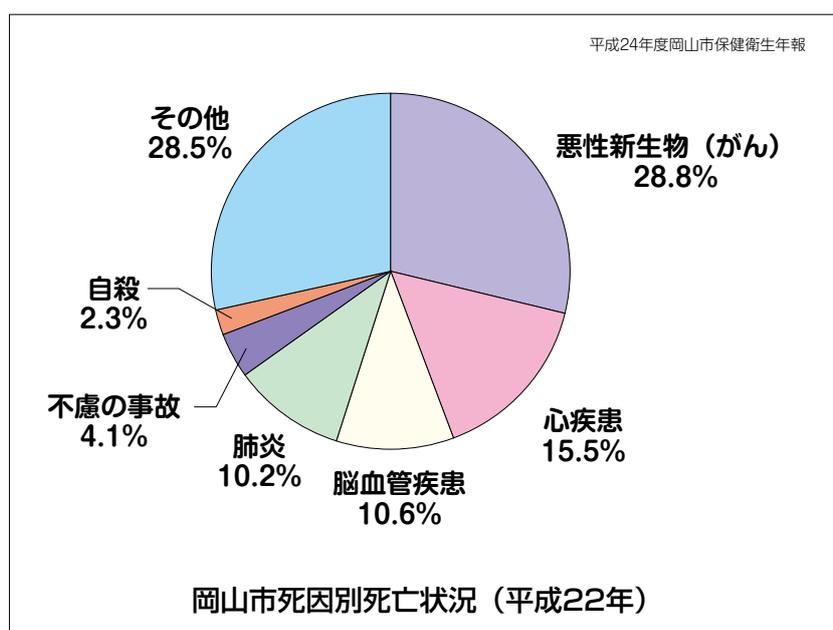
※ 平均寿命：0歳の平均余命

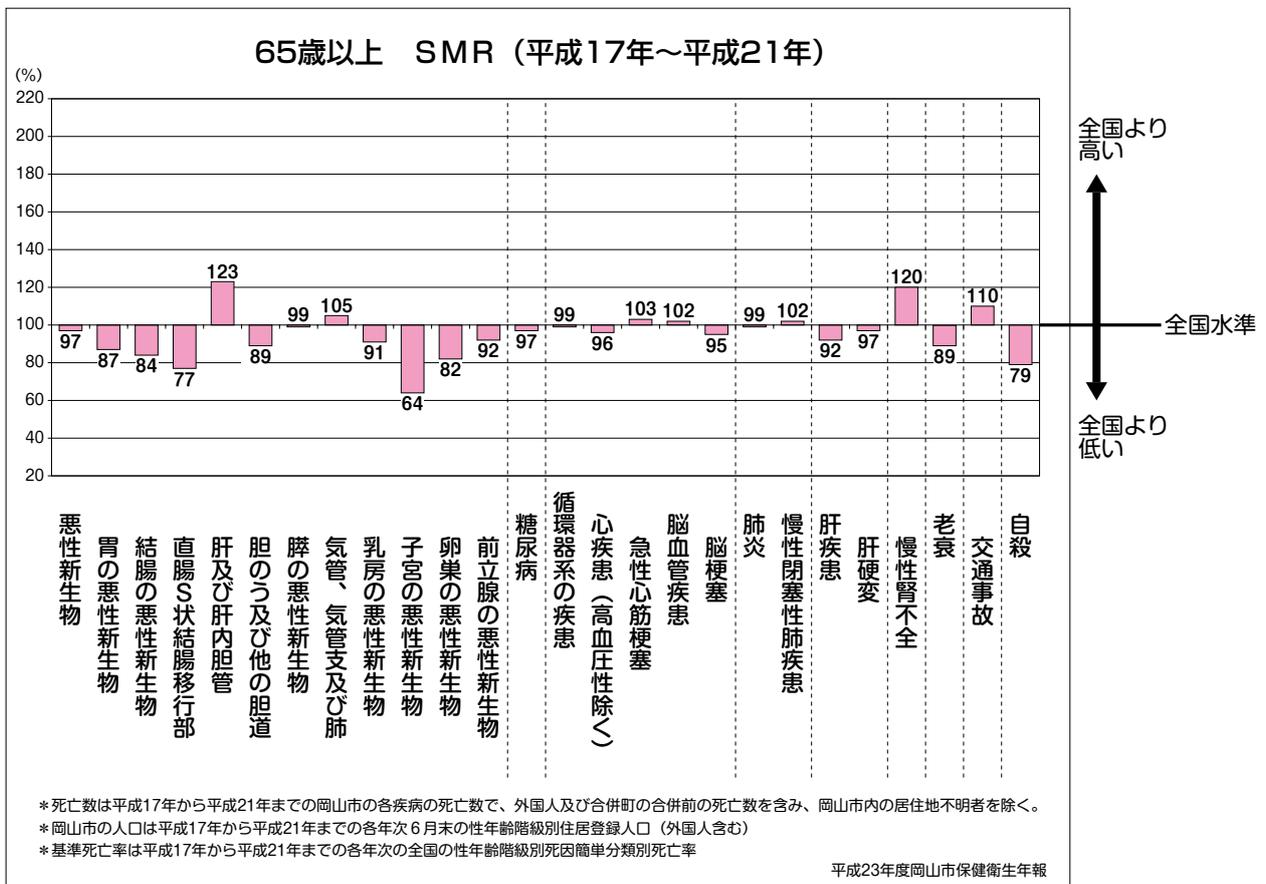
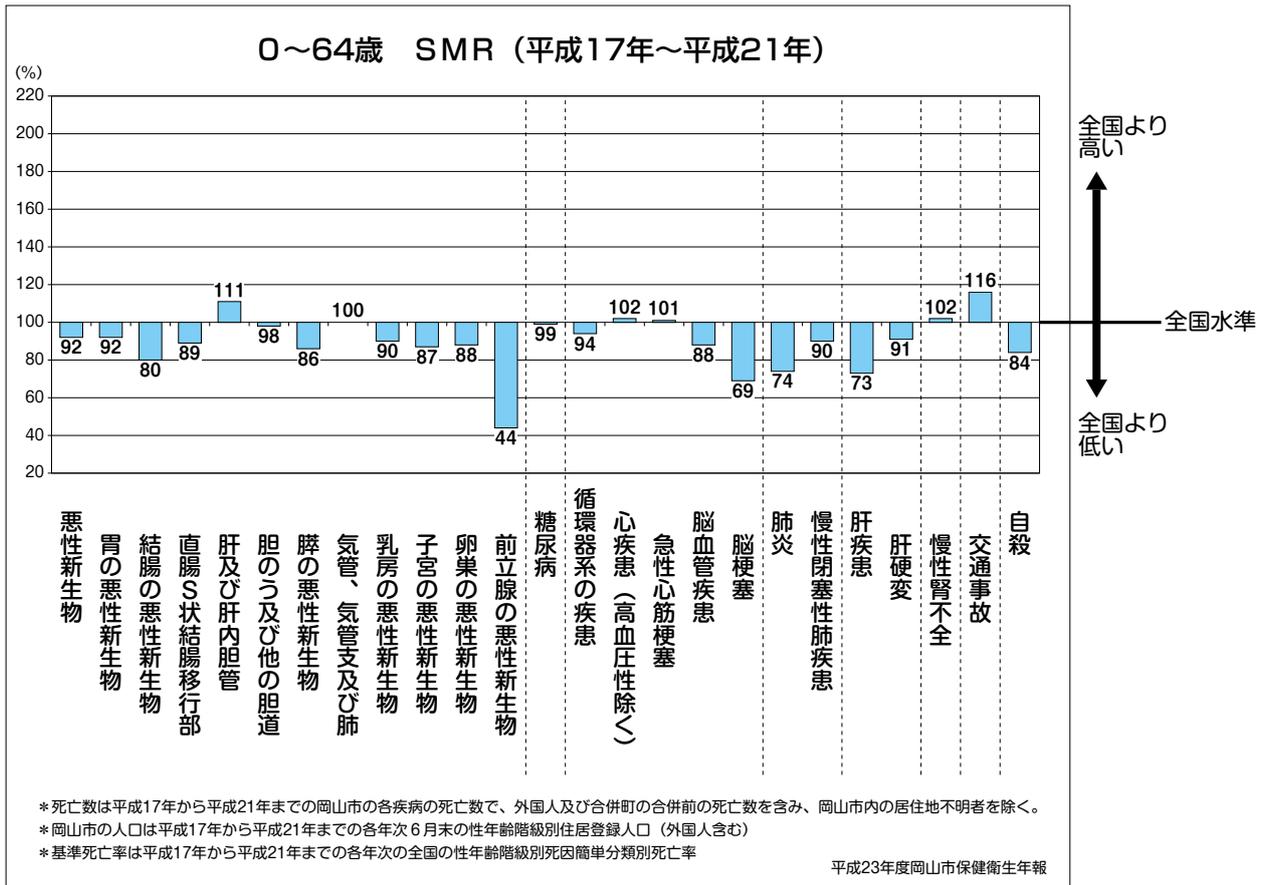




2 疾病との関係からみる健康状況

岡山市の平成22年死因別死亡状況を見ると、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病による死亡者数が全体の55%を占めています。全国と比べて多い死因を標準化死亡比（SMR）で見ると、全年齢で肝臓および肝内胆管の悪性新生物、交通事故による死亡が若干高くなっています。また65歳以上では慢性腎不全による死亡が高くなっています。





※ SMR (標準化死亡比) : ある地域の死亡者数を全国レベルと比較する場合、該当地域の人口構成を全国の標準的な人口構成比率で調整したうえで比較した値。値が100であれば全国レベルで、値が高くなるほど、死亡者数が多いことを示します。